



上野小だより

自分から Challenge やればできる 大人も Challenge

上野村立上野小学校
学校通信 第6号(担当:梯)
令和6年9月11日発行

2学期が始まり2週間ほど、一気に日常が戻ってきました

夏休みが終わり、子供達が学校に戻ってきました。子供達が通って来てこそその楽しい学校です。授業はもちろん、次々と多くの活動が始まり、子供達の頑張る姿、優しい姿、前向きな姿が日々見られます。

上野村体育祭に向けて各団の練習が始まりました



各団の団長・副団長が決まり、優勝を目指した練習がスタートしました。様子を見てみると、どの団もリレーの練習から始め、走る順番を考えたり、バトンの渡し方や受け取り方のコツを高学年の子供達が下の学年の子に教えたりしています。鉢巻きを結べずに困っている小さな子の後ろに回って結んであげたり、バトンの受け渡しの見本を実際に走って見せてあげたり、高学年の子の優しさやリーダー性が随所に見られます。子供達の姿が毎日楽しみです。

陸上練習も始まっています

藤岡市多野郡小学校陸上教室記録会が、10月10日に藤岡市の陸上競技場で行われます。参加を希望する5,6年生の子供達が、チャレンジする種目を自分で決め、CTの時間に練習を頑張っています。走り、投げ、跳び、先生達も、そしてやってみたいと思う4年生も一緒に、汗をいっぱいかきながら頑張っています。練習を終えると、みんないい顔で戻ってきます。



子供達の姿を見て、立派！と思いました



外の気温が高すぎて校庭で遊べない日があります。そんなある日の休み時間、2階の多目的スペースを見に行くと、卓球を楽しむ子、ONE

PIECEの本を読む子、お箸の使い方を練習する子など、様々に過ごす姿が見られました。さて、もうすぐチャイムが鳴るけれど、この状況、この後どうなるのだろうと思って見ていると、子供達は時計を見てチャイムが鳴る前にきれいに片付けて、みんな教室に戻っていきました。何も言わなくても、全員が自分からしっかり動いていきます。立派なものだと感心しました。

2学期始業式で子供達へ話したこと

「夏休み、学校を離れて家で過ごすことが多かったと思いますが、自分の力が伸びていることに家で気が付きましたか？」(はい!という返事がたくさん返ってきました)1学期、みなさんは、しっかり力を高めていました。夏休みお会いした何人かのお母さん方も「うちの子、力が伸びていると思います」と話されていました。『私もそう思います』と答えました。

みなさん一人一人の体の中には、『できる力』と『できるようになる可能性』が入っています。それを体の中から出すために使うのが『Challengeやればできる』と『自分から』です。思った通りにできるときもあれば、思い通りにできない時もあります。成功もあれば失敗もあります。当たり前です。うまくいかない時には、『どうやったらうまくいかなあ』と考えて進めばいいだけです。これも大事な勉強です。そうやって、できないことができるようになっていきます。さて、2学期も『Challengeやればできる』と『自分から』です。みんなで、『自分の力』と『みんなの力』を伸ばしていきましょう。」

多くの方々に、授業を見ていただきました



9月4日、群馬県教育長様、群馬県教育委員・県教育委員会・西部教育事務所の方々、上野村の教育委員会・学校運営協議会の方々に、全学年の授業を見ていただきました。その後の会議では、6年生全員にも入ってもらい、学校での授業や家庭学習のことなど、県の方々と意見交換を行いました。授業について子供達は、「自分のわからないところをわかるまで勉強できる」、「友達と一緒に勉強

できることが楽しい」、「自分の学びたいところを学べる」、家庭学習については「授業でできなかったことを家でできる」、「長い時間読書ができる」、「自分のやらなければならないことに時間が使えるのがいい」、上野小学校の良いところについては「自分で考え行動できるところ」、「学年関係なくみんなでいろいろなことができる場所」、自分の成長については



は「自分の意見がハキハキ言えるようになった」など、子供達が発言しました。後日、県教育長様が学校へ電話をくださり、その中でも「6年生が話をしている人の顔をしっかりと見て聞き、答えていました。自分の思いをしっかりと伝えられることがすばらしいです」と話してくださいました。9日には、上野村の民生児童委員の方々にも授業を見ていただきました。委員さんの質問に答える子や、にこっと手を振る子がいるなど、子供達も嬉しそうでした。